

メルマガ「とちぎ通信」 2022年夏号（第35号）

■とちぎ型大使館外交「米国編」

県産品・県産農産物の輸出拡大や外国人観光客の誘客、本県投資環境のPRにつなげるため、2022年3月23日、在日米国大使館並びに在日米国商工会議所等に対し、福田知事が本県の魅力・実力についてプレゼンテーションを行うとともに、海外に向けた栃木県の効果的なPR手法やグローバル人材育成等、様々なテーマについて、米国側の参加者と意見交換を行いました。



▲会議に参加した福田知事と在日米国大使館等の皆様



▲参加者との意見交換の様子

■県内経済のグローバル化（2021年度国際経済交流調査）

県内企業1,000社を対象に、輸出入や海外進出の状況等の実態を把握し、経済のグローバル化に即した支援策を展開するための基礎資料を得ることを目的として、輸出入や海外進出の状況等について調査を実施しました（回収率52.1%）。

これによると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で輸出入額は減少傾向にありますが、輸出入実績のある企業数は300社（前年度比16社増）と、ここ数年で着実に増加しており、県内企業の海外展開が進んでいることが裏付けられました。詳しい調

査結果は、下記のリンク先をご参照ください。

<リンク先>

2021年度栃木県国際経済交流調査結果

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/work/shoukougyou/kokusaikeizai/chousa/kekka.html>

■県香港事務所に卯木駐在員が着任



6月7日、本県唯一の海外拠点である香港事務所（ジェットロ共同事務所）に、卯木啓之（うきひろゆき）駐在員（小山市出身）が着任しました。

【略歴】

2006年入庁、東京都産業労働局創業支援課（派遣）、総合政策部総合政策課、産業労働観光部経営支援課等を経て、2021年から産業労働観光部国際課配属

【着任挨拶】

栃木県香港事務所が設置されたのは1990年。早32年目を迎えました。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、人や物の動きを停滞させ、世界経済に大きな影響を及ぼしていますが、アフターコロナを見据えて、現地ならではのネットワークを活かし、情報収集・県内企業の販路開拓支援・インバウンド促進等に取り組んで参ります。香港にお越しの際には、是非お声がけください。

【E-mail】Tochigi_HK@jetro.go.jp

■宇都宮ブレックスがB. LEAGUE制覇

宇都宮市を本拠地とするプロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」が、5年ぶりにB. LEAGUEシーズン王者に輝き、多くの県民に勇気と感動を与えました。

6月5日、優勝記念パレードが県庁と宇都宮市役所を結ぶシンボルロードで開催され、地元で凱旋（がいせん）した選手の勇姿を目に焼き付けようと、沿道は約3万5千人のファンらでにぎわいました。



▲県庁正門前に集結した BREX の選手とチアリーダー-BREXY



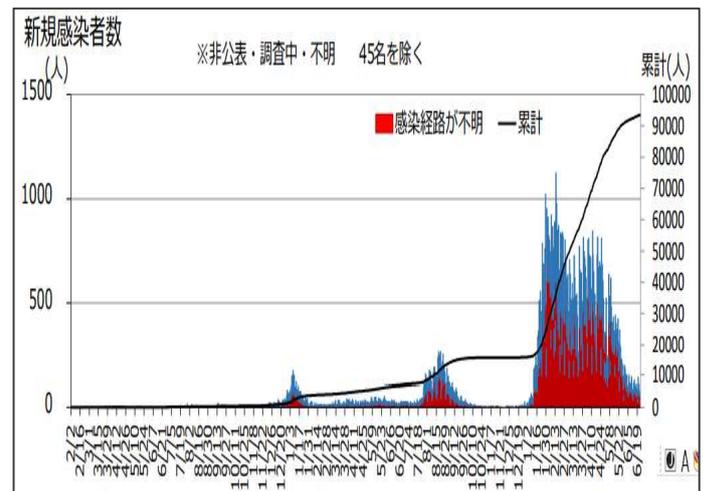
▲宇都宮市内シンボルロードでの優勝記念パレードの様子

■県内の新型コロナウイルス感染症の現状

本県では、オミクロン株による感染拡大が年明けから続いていましたが、6月後半の段階で人口10万人あたりの新規感染者が30人程度となり、ゴールデンウィーク明けの4分の1以下にまで減少しています。また、コロナ患者の入院受入医療機関の病床使用率が10%を下回って推移するなど、医療提供体制への負荷が低い状態が続いていることなどを総合的に勘案し、6月25日から、本県の警戒度レベル（0～4の5段階）が、約半年ぶりにレベル1に引き下げられました。6月22日現在の県内のワクチン接種率は、2回目：83%（全国80%）、3回目：64%（全国61%）と、全国平均に比べ高くなっていますが、今後、ワクチン接種により獲得された免疫が減衰していくことや、夏休みシーズンとなる7月以降の接触機会の増加が予想されること、オミクロン株の新たな系統への置き換わりの可能性もあること等から、引き続き、基本的な感染対策を徹底するよう、県民・事業者等に呼びかけています。とちぎびとの皆様におかれましても、引き続きご自愛ください。

<リンク先> 新型コロナウイルス感染症情報

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/kouhou/korona.htm>



■「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が開催されます

2022年10月に、栃木県で第77回国民体育大会と、第22回全国障害者スポーツ大会が開催され、各競技で熱い戦いが繰り広げられます。

国民体育大会（通称：国体）は、昭和21年から、毎年都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典で、「いちご一会とちぎ国体」は、昭和55年の第35回大会「栃の葉国体」以来、42年ぶりに栃木県で開催されるものです。

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典で、栃木県では初めて開催されるものです。

【公式HP】 <https://www.tochigikokutai2022.jp/>

いちご一会とちぎ国体 2022 **いちご一会とちぎ大会**

第77回 国民体育大会 10/1(土)～11(火)

第22回 全国障害者スポーツ大会 10/29(土)～31(月)

発行・編集：栃木県産業労働観光部国際課

E-mail: senryaku@pref.tochigi.lg.jp

発行日：2022年7月8日（金）

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご 紹 介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介するこのコーナー。
今回は、アメリカ合衆国「ニューヨーク栃木県人会」の進藤様に、同県人会の活動について執筆いただきました。進藤様、ありがとうございました。
ニューヨーク栃木県人会の皆さまのますますの御活躍を期待しています。
※掲載を希望される皆さまからの御連絡をお待ちしています！

皆さん、こんにちは。
ニューヨーク栃木県人会の進藤です。

紫陽花が色づき清々しい初夏の季節になりました。郊外には故郷の「井頭公園」を思い出させる自然豊かな公園やトレイルがあり、マスクなしで“森林浴リフレッシュ”ができます。一方で新型コロナウイルス感染の警戒レベルは現在も高い状況です。当県人会の対面での活動再開は未だ様子を見ているところです。

COVID-19 がパンデミックとなった 2020 年 5 月、『Zoom で栃木チャット』を試みました。在ニューヨークの会員、西海岸のとちぎびと、栃木県在住の家族や友人も交えて、近況報告&交流をしました。2回目の 11 月には県庁職員の方にも参加いただき、県内の感染状況や経済の様子などについてお話しいただきました。時差を考慮しつつ、これからは世界各地の栃木県人会の皆さんとオンラインで交流をしていきたいと考える良いきっかけになりました。将来的には各国からのオンライン参加者がそろって「栃木県民の歌」を斉唱し、郷土愛や士気を高める時代が来るのではないのでしょうか♪

毎年春には多くの街で「さくら祭り」が開催され、日系人の私たちが母国日本や故郷を PR する楽しいイベントがあります。来春こそ、ニューヨーク栃木県人会も企画・参加し、皆様にご報告できることを祈っております。

世界の栃木県人会の皆さまのご健康と益々のご発展をお祈りいたします。

是非オンラインで交流いたしまししょう！

現地名	New York Tochigi Kenjinkai
設立年月日	2010 年 1 月 29 日
所在地	ニューヨーク州 ニューヨーク市
会長	進藤 尚子
会員数	約 40 人 (2022 年 6 月現在)



▲ 足利市出身のバチスタ陽子さん（前列赤いハッピー）が率いる「White Plains さくら祭り」、2023 年は開催できますように。植樹した桜の木は延べ 100 本以上になります。



▲ 2019 年の夏には『暑気払い』で、12 月には『忘年会』で集まり楽しく親睦を深めました。故郷を想う気持ちは深いですが、控えめな県民性は海外でも変わらず!! 会社経営者、芸術家、会計士、国連職員、日系企業の駐在の方などが、栃木なまりも入りながら楽しく交流しております。在米 1 年目から 50 余年まで、それぞれの人生経験のお話は大変興味深いです。